

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を地域の人々に向けて活かしている	施設利用者の生き活きとした生活ぶりを地域の方々に、回覧板等で発信をし、理解して頂く。	地域の方々と触れ合う機会作りとして、ガレージ バザーや芋ほり、屋外での焼肉パーティー等を企画 し、発信方法を検討する。	1年
2	8	日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、それらを活用できるよう支援している	職員会議等で青年後見人を講師としてお招きし、職員が制度を理解できるよう、勉強会をして 頂く。	研修会で学んだ事を、フロアに持ち帰り、全職員が 理解できるように申し送りをし、発信する。	7ヶ月
3	25	一人ひとりの1日の過ごし方・心身状態・有する力等の現状の把握	精神・身体状態等一人ひとりの現状を把握し 1日の過ごし方を提供できる。	訴えに傾聴しながら、その方の体調に合わせたスケジュールを話し合う。	6ヶ月
4	36	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応ができている	職員が常に一人ひとりの人格を尊重し、安心して日々を過ごして頂き、細部まで気に留めるように心がけます	一人ひとりの想いを汲み取れるよう、各階職員同士チェックをし、その場面に合わせた対応をする。	6ヶ月
5	55	一人ひとりの「できる事」「わかる事」を活かして安全かつ自立した生活が送れるように工夫がされている	「できる」「わかる」が利用者の自信や活力につながり、安全面第一に知恵を出し合い工夫 する。	現状のADL、認知度の把握をし、危険リスクを回避する工夫をしながら生活を送って頂く。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。